

SDGs シンポジウム

「誰も取り残されない愛知」を
実現するために何をすべきか

第2部 シンポジウム

テーマ：SDGsと愛知・中部圏

川村 真也（中部大学 国際ESD・SDGsセンター）

高度経済成長期の地域環境の問題

藤前干潟埋め立て問題（1984-1999）

名古屋市のごみ処分場として埋立て計画があったが、市民運動と行政の最終判断によって計画は中止され、干潟が保全された。



<https://www.nagoya-info.jp/>より画像を所得



<https://otakara-aid.com/>より画像を所得

四日市ぜんそく（1950年代末から1970年代）

戦後日本の4大公害の1つ。コンビナートの工場が排出する有害物質の影響で多くの犠牲者が出た。

地球的課題解決のための世界の取組み

- | | |
|--------------|--|
| 1987年 | 国連「環境と開発に関する世界委員会」（通称：ブルントラント委員会）報告書「Our Common Future」において「持続可能な開発」が定義される。 |
| 1992年 | 1992年国連「環境と開発に関する世界委員会」（通称：地球サミット）開催。「リオ宣言」及びこの宣言の行動計画である「アジェンダ21」の合意や「生物多様性条約」「気候変動枠組条約」が採択される。 |
| 1997年 | 京都市で第3回気候変動枠組条約締約国会議（COP3）が開催。京都議定書が採択。 |
| 2002年 | 国連「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（通称：ヨハネスブルグサミット）が開催。日本は「ESDの10年」を提案、第57回国連総会本会議にて「ESDの10年」が採択。 |
| 2005年 | 日本国際博覧会（愛・地球博）の開催（愛知県）
「自然の叡智」と「地球大交流」を理念の中心にすえて開催 |
| 2010年 | 生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催（名古屋市） |
| 2012年 | 国連「持続可能な開発会議」（通称：リオ+20）が開催。 |
| 2014年 | 国連「ESDの10年」最終年、「ESDに関するユネスコ世界会議」の開催（名古屋市） |
| 2015年 | UNESCO「ESDのグローバルアクションプログラム」開始 |
| 2016年 | 国連「持続可能な開発ゴール（SDGs）開始」（2015年～2030年） |

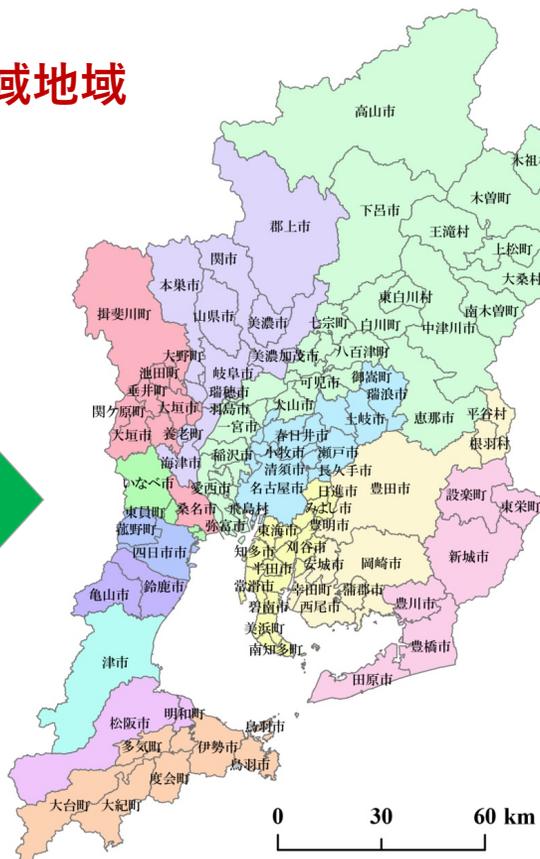
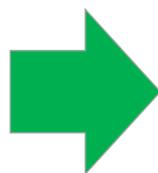
2007年：RCE中部（中部ESD拠点）の誕生

ESD（持続可能な開発のための教育）を地域で実現していくための拠点として、国連大学が推進・認定しているRCE(Regional Centres of Expertise on ESD)中部が誕生（中部ESD拠点の誕生）。

活動対象地域：伊勢・三河湾流域地域



伊勢・三河湾に注ぐ主要河川流域
国土数値情報「流域界・非集水域第1.1版」より作成



流域圏自治体

加盟団体数

78団体（2023年）：

主要構成機関：NPO/市民団体（41）、学校・研究所（22）、行政機関（9）



古澤礼太著「持続可能な発展への挑戦—中部ESD拠点が歩んだ国連ESDの10年」（中部大学ブックシリーズアクタ 31）2019年 風媒社

伊勢・三河湾流域圏で進めるESD活動（事例：2012年度～14年度）

宮川	櫛田川	雲出川	鈴鹿川	海蔵川	揖斐川	長良川	木曾川	庄内川	愛知用水	矢作川	豊川	
古民家リフォーム塾	地域住民と学生が協働でつくる地域マップ	子どもと木材工作	亀山の小学生を対象とした環境学習	海蔵川上流域の里山づくり	校舎のない学校	生物多様性条約 COP11報告会	薬草とのつきあい方	恵那の薪ボイラー	地産地消情報のマンピング	若者の農村生活支援	福津農場の有機農業	
聞き書き講習会 大紀町	丹生地域におけるまち歩きと地域資源の発掘	雲出川中流域における農の活性化	鈴鹿川流域の環境展	海蔵川中流の環境活動	垂井町の多文化共生	新春若手ZPO対談	犬山の城下町とESD	高齢者と学生の交流	ものづくりとESD	おじいちゃんに聞く、ブラジルに渡った日本人の話の会	豊川市諏訪地区の中心市街地活性化	
答志島のゴミ問題	松名瀬櫛田川河口データ勉強会	雲出川フォーラム	四日市公害資料館への市民参加	海蔵川と第3コンビナートの取組み	はまぐりと赤須賀漁協	よみがえれ長良川	なごやからのリユース復活大作戦!!!	ホームレスの自立支援	メダカ・ホタルとの共生の街づくりに向けて	地域通貨・おむすび通貨の取組み	東日本大震災命を語り継ぐ集会	
背景色			自然	経済			社会					

上流



下流



12河川流域圏 × 3地点（上流・中流・下流） × 3年 = 100以上の地域課題



Central Japan
**SDGs
Platform**

Central Japan SDGs Platform 中部圏 SDGs 広域プラットフォーム

中部圏 SDGs 広域プラットフォームは中部地方
(富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県)
における持続可能な開発目標 (SDGs) 達成を支援します

中部圏SDGs広域プラットフォーム

(2021年に設立)

設立発起団体(順不同)

- 国際連合地域開発センター(UNCRD)
- (国連大学認定 RCE)中部 ESD 拠点
- ローマクラブ日本(The Japanese Association of The Club of Rome)
- 一般社団法人中部 SDGs 推進センター

https://chubu-sdgs-platform.jp/member_list/index.html

産官中心



中部圏の自治体職員と企業を繋げるプラットフォーム

教育機関・NPO法人の参加が少ない



日本最大級の SDGs 推進フェア

SDGs AICHI EXPO 2023

in Aichi Sky Expo

2023
10/ 5 Thu 6 Fri 7 Sat

SDGs AICHI EXPO 10月の3日間

(2021年からAichi Sky Expo (愛知県国際展示場) で開催)
各種企業、行政機関、教育・研究機関、NPO/市民団体等が多数参加

<https://sdgs-aichi.com/>



SDGsを通じた 産官学民交流の場

年次	参加企業・団体	来場者
2022年	120	13,633人
2023年	122	14,058人

SDGs未来都市

灰色：2023年度
紫色：2022年度
桃色：2021年度
橙色：2020年度
緑色：2019年度
青色：2018年度
※都道府県が選定されている場合は全域を着色



中国・四国地方

2023年度：5都市（1）
2022年度：4都市（1）
2021年度：2都市（1）
2020年度：5都市（2）
2019年度：3都市（1）
2018年度：5都市（1）

九州・沖縄地方

2023年度：5都市（1）
2022年度：5都市（2）
2021年度：3都市（2）
2020年度：5都市（1）
2019年度：6都市（3）
2018年度：3都市（3）

北陸地方

2023年度：4都市（3）
2022年度：4都市（1）
2021年度：2都市（1）
2020年度：3都市（1）
2019年度：5都市（3）
2018年度：3都市（1）

近畿地方

2023年度：5都市（1）
2022年度：4都市（2）
2021年度：5都市（1）
2020年度：6都市（3）
2019年度：6都市（1）
2018年度：2都市（0）

北海道・東北地方

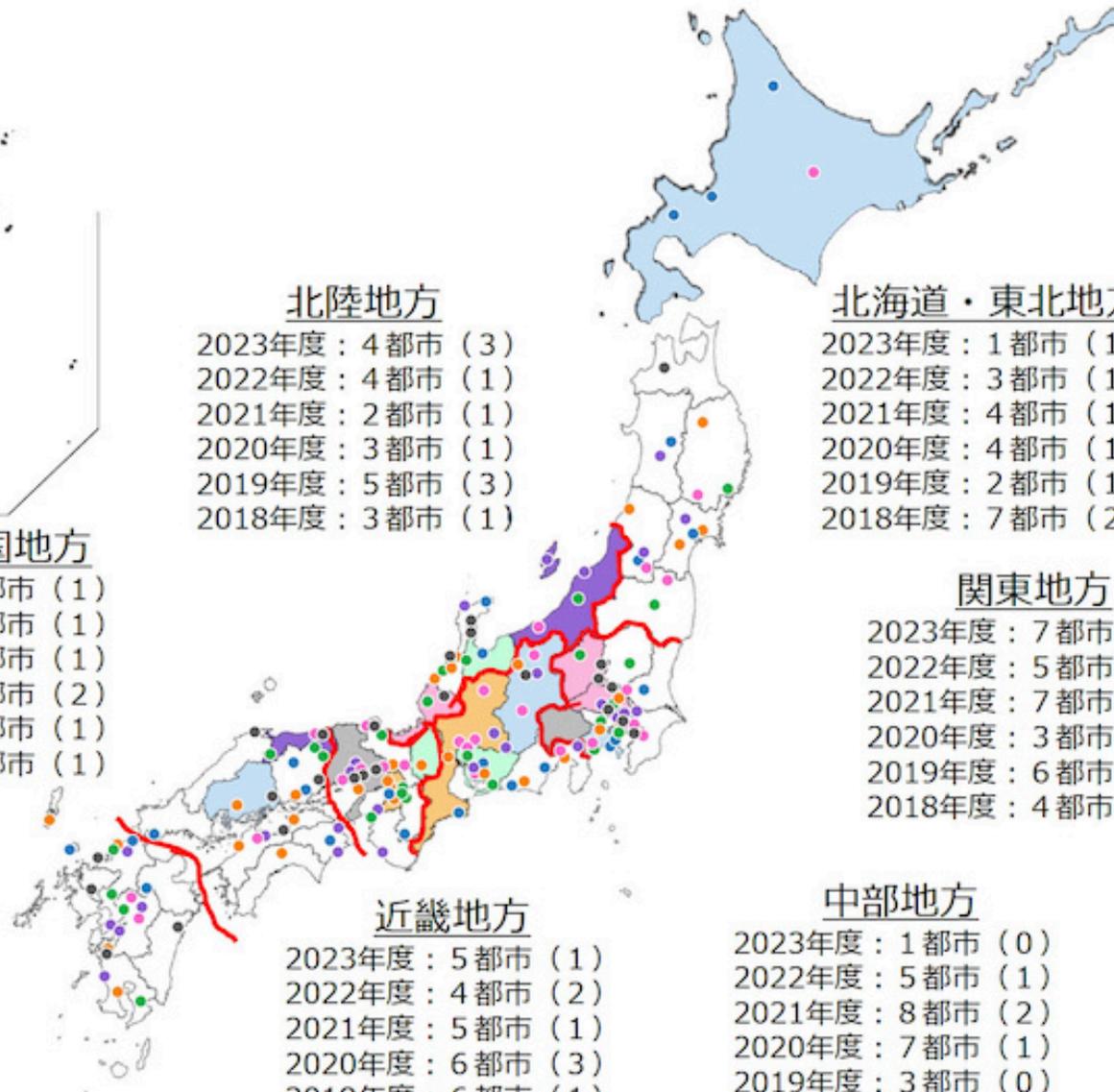
2023年度：1都市（1）
2022年度：3都市（1）
2021年度：4都市（1）
2020年度：4都市（1）
2019年度：2都市（1）
2018年度：7都市（2）

関東地方

2023年度：7都市（3）
2022年度：5都市（2）
2021年度：7都市（2）
2020年度：3都市（1）
2019年度：6都市（1）
2018年度：4都市（3）

中部地方

2023年度：1都市（0）
2022年度：5都市（1）
2021年度：8都市（2）
2020年度：7都市（1）
2019年度：3都市（0）
2018年度：5都市（0）



愛知県内では
以下の8都市が

- 豊田市、
- 愛知県、
- 名古屋市、
- 豊橋市、
- 岡崎市、
- 小牧市、
- 知立市、
- 西尾市

がSDGs未来都市

※ () 内は自治体SDGsモデル事業都市数

愛知県の人間の安全保障指数

総合指数 全国第10位

命指数は全国トップ。しかし、生活指数、尊厳指数は中位。

主観的な自己充足度は中位だが、社会的連携性(34位)が弱い。

命指数:健康年齢(男性3位、女性1位)

人口当たり病院、病床、医師数が少ない。

生活指数:障害者雇用率、女性の雇用率、ひとり

親の正規雇用率、高齢者有業率が低い。

不登校率が高い:小学校7408人(千人当たり18.

4人)、中学校13367人(64人)(2022年度)

尊厳指数:刑法犯認知件数、

DV被害者の一時保護件数が多い。

子どもの自殺数が多い:20歳未満55人(2022年度)

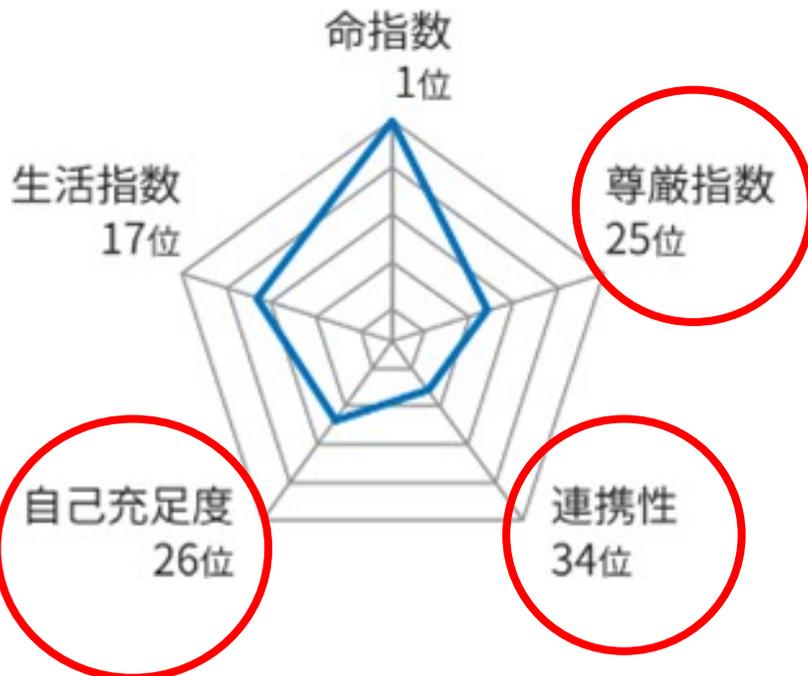
理由は学校問題が44.9%

優先課題:NPO数、障害者雇用率、ひとり親の正規雇用

病院数、病床数の増加、運動能力の向上、

不登校率、子どもの自殺数

産官学民で「尊厳」への取り組みが少ない





ホーム トルシーダについて 活動紹介 ご支援 お問い合わせ アクセス ブログ PORTUGUÊS スタッフ募集!



特定非営利活動法人 トルシーダ

子どもも大人も
多様性が輝く明日を

不就学の外国籍児童のゼロを目指して
認定NPO法人 プラス・エデュケート（豊明市）
特定非営利活動法人 トルシーダ（豊田市）

facebook YouTube

中文

ภาษาไทย

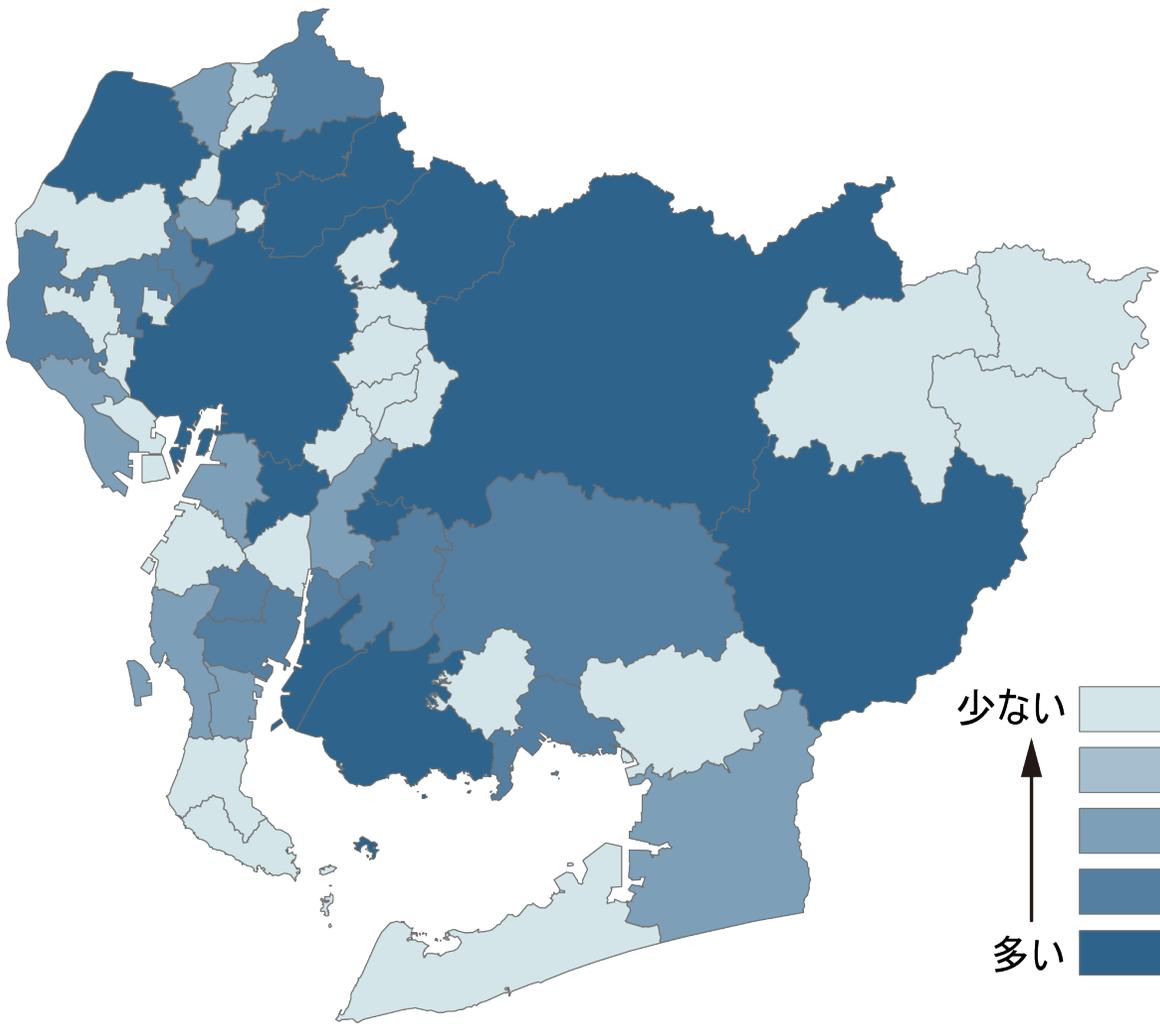
Tiếng Việt

サービス・スケジュール / Service・Schedule

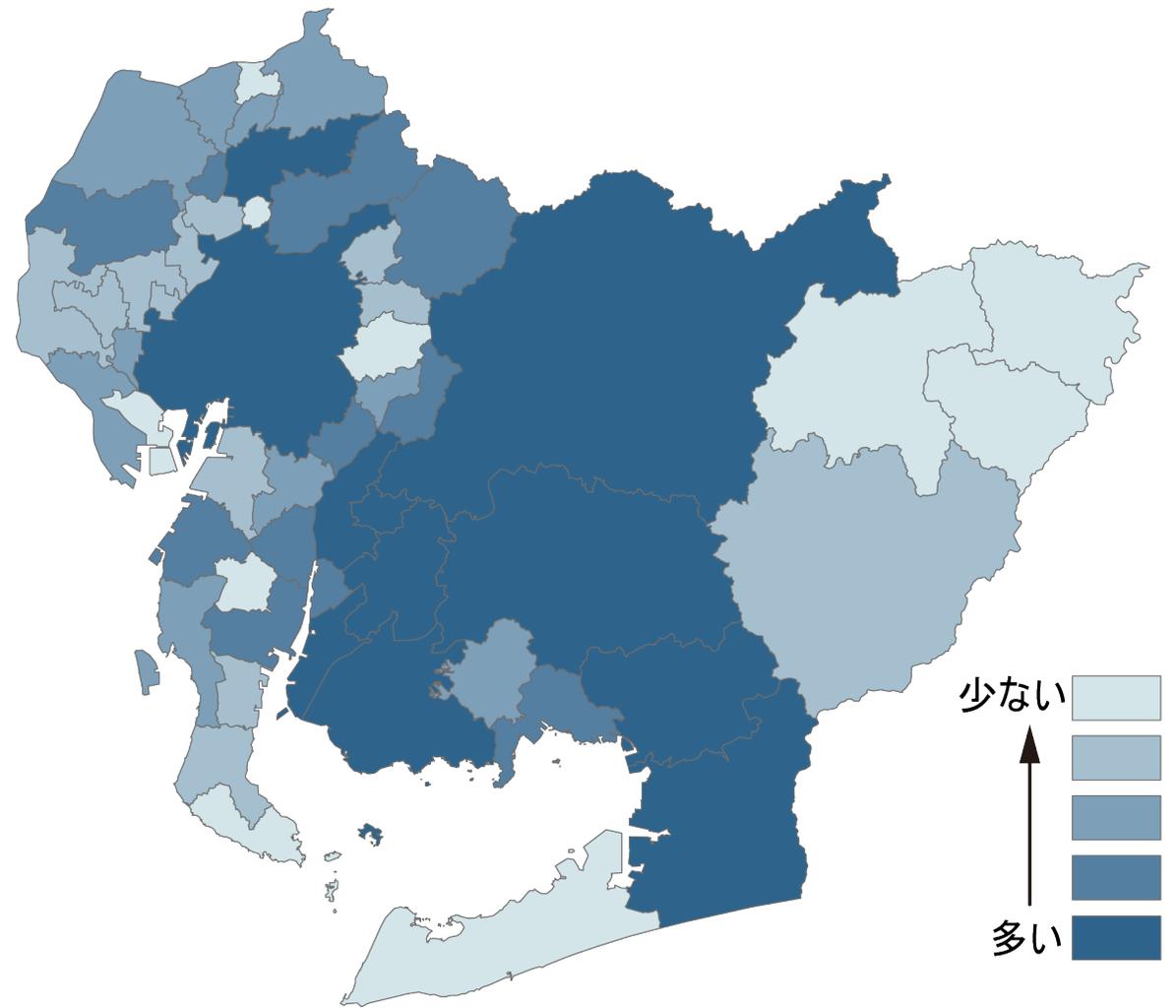
GLOBAL AICHI



日本で教育を受けた外国籍の方々の就職あっせん
グローバル愛知（名古屋市）



不就学の可能性がある学齢期の外国人の子どもの数



日本語指導が必要な児童生徒数

尊厳指標の可視化 → 地域政策に積極的に活用してほしい

「誰も取り残されない愛知」 2030年に向けて、これからの愛知県のSDGs

命、生活（経済）に関する項目も重要であるが…

より尊厳を重視する必要がある。
(外国人、女性、子ども、高齢者)

尊厳の指標に着目した政策立案をしなければ、明るい未来がない。
名古屋出入国在留管理局に収容中のスリランカ国籍の女性、ウィ
シュマさん死亡事件（2021年）の記憶もまだ新しい。
特に外国籍の人と共存・共栄できる社会構築を目指す必要がある。